

## 研究協力をお願い

横浜市スポーツ医科学センターでは、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

### ハムストリングス肉ばなれ後の再発に関連する因子の検討

#### 1. 研究の対象および研究対象期間

2025年6月から2026年3月に横浜市スポーツ医科学センターでハムストリングス肉ばなれ後のリハビリテーションを行った後に競技復帰を目指す方

#### 2. 研究目的・方法

ハムストリングス肉ばなれ後の競技復帰の指標として、筋力や股関節の可動域の拡大があげられますが、この基準に達しても肉ばなれ発生前の状態でのスポーツ復帰ができない例や再発してしまう例があります。過去に肉ばなれを経験した選手は、競技復帰後においても張りや違和感を訴えることが多くみられます。選手立脚型指標として開発された Hamstring outcome score（以下、HaOS）は、選手自身が感じるハムストリングスの張り感や違和感といった、これまで曖昧な表現がされてきたものをスコア化できる指標です。そこで、HaOS がスポーツ復帰後の再発とどのように関連するのかを分析します。また HaOS と従来の身体評価との関係を分析することで、再発リスクの低い適切なスポーツ復帰指標の開発に役立てます。

#### 研究期間

令和7年6月から令和8年3月末日まで

なお、研究期間は必要に応じて年度ごとの研究申請をもって1年単位で延長する

### 3. 研究に用いる情報の種類

- ・年齢、性別、身長、体重、受傷機転、重症度、競技種目、競技レベル、スポーツ復帰(公式戦出場)の可否、復帰後1年以内の再発の有無
- ・リハビリテーション中の身体評価で得られた測定値（測定時期：初回リハビリテーション時、ジョギング開始時、スポーツ復帰時）および身体評価時の動画
- ・怪我における主観的情報（Google Forms platform への回答もしくは紙面への回答）
- ・復帰後1年以内の再発の有無に関する情報は、カルテに登録されている電話番号へ発信し、確認させていただきます

得られた情報は、解析を行う前に氏名や患者番号などの個人情報を削除し、新たな符号（番号）をつけ、個人が特定できないように匿名化します。また、身体評価時に撮影した動画については、個人が特定されないように加工修正します。匿名化したうえで、鹿児島大学と共同で解析を実施します。匿名化されたデータは横浜市スポーツ医科学センターおよび鹿児島大学の関係者以外はアクセスできないように、パスワードロックのかかる情報漏洩対策を施した状態で管理します。

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲で、研究計画書を開覧することが出来ますのでお申し出ください。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：横浜市スポーツ医科学センターリハビリテーション科

氏名：柴田真子

住所：222-0036 神奈川県横浜市港北区小机町 3302-5 日産スタジアム内

電話番号：045-477-5050

研究責任者：鈴木仁人（横浜市スポーツ医科学センターリハビリテーション科）